

2024年度中に一般社団法人東京科学機器協会が実施した事業及びその他の活動状況について、次の通り要約して報告いたします。

事業報告

2024年4月1日から2025年3月31日まで

〔組織と人事〕

1. 会員数に関する件（会員異動）

2024年度期首	330社
当期中の加入	5社
当期中の退会	10社
2024年度期末	325社
〈当期中の加入者〉	
フロイント産業株式会社	(2024年4月入会)
株式会社ニクニ	(2024年4月入会)
合同会社embrio	(2024年5月入会)
株式会社アスカインデックス	(2024年7月入会)
株式会社海老原ゴム商会	(2025年2月入会)

2. 役員・相談役・顧問・参与

理事長	：	長谷川壽一	(代表理事)		
副理事長	：	入江一光	(代表理事)	柴田眞利	
財務理事	：	下平克彦		高橋秀雄	
専務理事	：	山本直樹			
理事	：	富山裕明	西岡光利	福島 亮	平田紀行
		谷尾俊昭	野村篤史	三田村義崇	浦 明子
		大舘洋一	金谷幸一郎	白井一夫	中井 泉
		荻田容宏	山田義之	葭 哲二	
監事	：	栗田宣義	土井将司		
相談役	：	入江照四	矢澤英人	関谷幸弘	杉山雄之介
		荻田隆久	木崎民生	増田太郎	
参与	：	今村 清	雨宮重夫	野村雅久	平井夏夫
		白井義則	森川 智	江守 栄	高木康光
		徳増安則	野木賢一	志智裕之介	佐藤文俊
		青柳喜彦	南 明則	西原克年	木村 勉
		梅垣喜通			

3. 事務局異動

2024 年 4 月 16 日	吉井真理子	パートタイムとして採用
2024 年 9 月 4 日	加藤浩美	パートタイムとして採用
2024 年 11 月 1 日	前田 悟	職員として採用

4. 総務会・監事会・委員会等

当期中、活動した運営委員会・事業委員会等は次の通り。

〈 総 務 会 〉

長谷川壽一	入江一光	柴田眞利	下平克彦	高橋秀雄
山本直樹	富山裕明	西岡光利	福島 亮	

〈 監 事 会 〉

栗田宣義	土井将司
------	------

〈 常設委員会 〉

(1) 展示会委員会 (20 名)

委 員 長 :	柴田眞利			
副委員長 :	高橋秀雄	野村篤史		
委 員 :	中井 泉	青木 崇	伊藤忠浩	遠藤 聡
	岡部和徳	鎌田健嗣	北村英樹	木下麻奈美
	栗谷聡一	小林栄治	田口浩之	田中 剛
	永易亜沙子	布村友子	菫 哲二	渡辺 徹
	伊藤弘一郎			

(2) 総覧委員会 (11 名)

委 員 長 :	福島 亮			
副委員長 :	大舘洋一			
委 員 :	浦 明子	金谷幸一郎	白井一夫	
	藤本浩正	住友美貴	藤原将展	石川央紀
	北川純一	時津和弘		

(3) 経済・技術委員会 (11 名)

委 員 長 :	西岡光利			
副委員長 :	下平克彦	平田紀行		
委 員 :	中井 泉	三田村義崇	白井一夫	山田義之
	若井田健文	佐藤嘉紀	國井康裕	工藤 寛

(4) 広報委員会 (11 名)

委 員 長 :	富山裕明	
副委員長 :	野村篤史	三田村義崇

委 員：高橋秀雄 葭 哲二 外嶋友哉 若井田健文
夏目知佳子 鈴木裕之 筒井紫乃 國井康裕

(5) 交流・厚生委員会 (3名)

委員長：谷尾俊昭
副委員長：浦 明子
委 員：荻田容宏

第76回 新春大懇親会幹事会 (3名)

代表幹事：大館洋一
副代表幹事：中井 泉 富山裕明

(6) 国際委員会 (10名)

委員長：下平克彦
副委員長：福島 亮 金谷幸一郎
委 員：鵜殿直子 中川洋祐 伊東義則 奥川 博
下川宏行 八島省一 孫 黎 (臨時委員)

〈 特別委員会 〉

(1) 規約・協会将来委員会 (6名)

委員長：入江一光
副委員長：下平克彦 高橋秀雄
委 員：富山裕明 野村篤史 山田義之

女性活躍推進に関する準備委員会 (3名)

委員長：浦 明子
委 員：夏目知佳子 筒井紫乃

(2) 会員増強・満足度向上委員会 (5名)

委員長：高橋秀雄
副委員長：柴田眞利 谷尾俊昭
委 員：大館洋一 白井一夫

(3) 選挙管理委員会 (14名)

委員長：野中智臣
副委員長：井上輝彦
委 員：河西誠司 岡田康弘 菅 武彦
臨時委員：若井田健文 筒井紫乃 中川洋祐 矢澤 徹
佐藤嘉紀 國井康裕 平井直樹 仙北屋幸治
本郷千恵子

〈 創立80周年記念事業に関する委員会 〉

統括委員長：入江一光

(1) 創立80周年記念祝賀会委員会 (5名)

委員長：柴田眞利
副委員長：高橋秀雄
委員：富山裕明 野村篤史 荻田容宏

(2) 80 年史編纂委員会 (7 名)

委員長：下平克彦
副委員長：西岡光利 平田紀行
委員：福島 亮 谷尾俊昭 川勝美早子
アドバイザー：外嶋友哉

〔 会 議 〕

1. 通 常 総 会

第 79 回通常総会を次の通り開催した。

- ・日 時：2024 年 5 月 30 日 15:20～17:00
- ・会 場：上野・精養軒「桐の間」
- ・出席者：237 社（委任状含む）

承認議案は次の通り

- 第 1 号議案 2023 年度事業報告
- 第 2 号議案 2023 年収支決算報告
- 第 3 号議案 2024 年度事業計画(案)審議
- 第 4 号議案 2024 年度収支予算(案)審議
- 第 5 号議案 「入会金及び会費規約」改定（案）及び入会金無料期間（案）審議
- 第 6 号議案 役員の任期満了に伴う改選

2. 理 事 会

定例理事会を開催した。

9 回開催

第 79 回通常総会当日に臨時理事会を開催した。

2 回開催

3. 監 事 会

2 回開催

会計監査のため監事会を開催した。

- ・開催日：2024 年 4 月 16 日
- ・会 場：（一社）東京科学機器協会 会議室

会計監査の準備のため監事会を開催した。

- ・開催日：2025 年 3 月 19 日
- ・会 場：（一社）東京科学機器協会 会議室

〔委員会等〕

1. 総務会

協会運営に関する重要事項を検討・協議した。

11 回開催

2. 常設委員会・幹事会

- | | |
|---------------------|-------|
| (1) 展示会委員会 | 2 回開催 |
| (2) 総覧委員会 | 3 回開催 |
| (3) 経済・技術委員会 | 3 回開催 |
| (4) 広報委員会 | 6 回開催 |
| (5) 交流・厚生委員会 | 1 回開催 |
| (6) 国際委員会 | 2 回開催 |
| (7) 第 76 回新春大懇親会幹事会 | 4 回開催 |

3. 選挙管理委員会

1 回開催

役員改選に係る一連の準備手続きを行った。

4. 規約・協会将来委員会

2 回開催

理事長からの諮問に応じ、協会運営の円滑化のために、運営の課題、組織のあり方、その他当会の将来展望について協議・検討を行った。

5. 会員増強・満足度向上委員会

1 回開催

会の組織強化に向けて、会員増強及び満足度向上に関する対策及び募集活動を積極的に行った。

6. 創立 80 周年記念事業に関する委員会

- | | |
|---|-------|
| (1) 創立 80 周年記念祝賀会委員会
(内、創立 80 周年記念祝賀会準備委員会 1 回開催を含む) | 2 回開催 |
| (2) 80 年史編纂委員会 | 5 回開催 |

〔事業活動概要〕

1. 「JASIS 2024」開催に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共催した本展示会の日科協側の実務・運営を受託、開催に協力した。本展示会では、会員企業をはじめ出展社にマーケティングの機会を提供し日本の科学技術の発展に寄与した。

◆ 「JASIS 2024」

- ・会 期 : 2024年9月4日～6日
- ・会 場 : 幕張メッセ
- ・主 催 : (一社)日本科学機器協会／(一社)日本分析機器工業会
- ・総出展社数 : 407社／機関
- ・総出展小間数 : 1,214小間

- ・来場者数 単位 : 人

	JASIS2024	天気	JASIS2023
9月4日(水)	7,046	晴れ	6,593
9月5日(木)	7,585	晴れ	5,441
9月6日(金)	7,287	晴れ	4,081
合 計	21,918		16,115

◆ 「JASIS 関西 2025」

- ・会 期 : 2025年1月29日～31日
- ・会 場 : グランキューブ大阪
- ・主 催 : (一社)日本科学機器協会／(一社)日本分析機器工業会
- ・総出展社数 : 105社／機関
- ・総出展小間数 : 188小間 (ソリューション小間を含む)
- ・来場者数 : 4,023人

2. 「JASIS 2025」の開催準備活動に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共催する両展示会の日科協側の実務・運営を受託した。出展募集に当たっては、2025年1月に開催要項を作成、前回の出展社や各地区協会会員企業のほか非会員企業にも配布するなど、広く出展募集活動を行った。このほか、機関誌・ホームページ・e-mailなどを利用して、本展の広報・PRに努めた。

◆ 「JASIS 2025」開催概要

- ・会 期 : 2025年9月3日(水)～5日(金)(3日間)
- ・会 場 : 幕張メッセ
- ・主 催 : (一社)日本科学機器協会／(一社)日本分析機器工業会

3. 「科学・分析機器総覧 2025」印刷版・DVD 版の編集・発行製作 および「WEB 科学機器総覧」の運営に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共同で発行した「科学・分析機器総覧 2025」印刷版・DVD 版の編集・発行・製作の実務・運営を受託、掲載募集をはじめ原稿作成・校正等掲載会社との連絡や、編集作業などの活動を行い、同総覧の編集・発行・製作に協力した。

2024 年 9 月に「科学・分析機器総覧 2025」印刷版・DVD 版を発行製作(18,800 部),「JASIS 2024」をはじめ,「真空展 2024」,「SEMICONJapan 2024」,「NANO TECH 2025」,「光とレーザーの科学技術フェア 2024」等の会期中,来場者に配付したほか全国の会員企業を通じて,全国の主要ユーザーに配布した。

また,WEB 科学機器総覧(<https://www.soran.net>)は,約 2,700 製品を掲載している日本最大級の科学機器ポータルサイトとして,多くのユーザーの便宜に供している。

なお,日本の科学機器・分析機器取扱会社を世界に向けて紹介する「英語版ウェブサイト『SORAN』」(<https://soranjapan.com>)に,掲載会社は無料で掲載でき,現在 127 社が掲載している。

4. 「科学・分析機器総覧 2026」印刷版・DVD 版の編集・発行・製作準備活動 に協力

(一社)日本科学機器協会と(一社)日本分析機器工業会が共同で発行する「科学・分析機器総覧 2026」印刷版・DVD 版の編集・発行・製作の実務・運営を受託した。

掲載募集に当たっては,2025 年 1 月に掲載募集案内を作成,前回の掲載会社や各地区協会会員企業のほか非会員企業にも配布するなど,広く掲載募集活動を行った。

このほか,機関誌・ホームページ・e-mail などを利用して,広報・PR に努めた。

2025 年 9 月に「科学・分析機器総覧 2026」印刷版を発行/DVD 版を製作,「JASIS 2025」,「真空展 2025」,「SEMICONJapan 2025」,「NANO TECH 2026」などで来場者に配付する予定のほか,全国の会員企業を通じて,全国の主要ユーザーに配布する予定。

5. 広報に係る事業

当期中,次の事業活動を行った。

- (1) (一社)日本科学機器協会 機関誌「科学機器」編集・発行に協力

(一社)日本科学機器協会 機関誌「科学機器」編集発行の実務・運営を受託,毎月 1,750 部発行(No. 910~921)して,日本科学機器協会会員に配付したほか,関係機関等に寄贈するなどの活動を行い,編集発行に協力した。

- (2) 「科学機器入門」(第 3 版)を頒布

2023 年 1 月に刊行した,冊子「科学機器入門」(第 3 版)は,会員をはじめ全国

各地の希望者に有償で頒布した。

(3) IT 活用

協会ホームページで会員企業全社の紹介をはじめ、協会の事業内容・組織図、「JASIS」・「WEB 科学機器総覧」の PR、技術情報、各種研究開発助成金制度や関係官庁・団体からの告示を転載するなど、会員にとって必要な最新情報を掲載した。また、(一社)日本科学機器協会はじめ、関連機関とのリンクや内外からのアクセスに対し、e-mail による回答や各種情報の受信・発信を行った。

URL : <https://sia-tokyo.gr.jp>

(4) 協会パンフレット (SIA TOKYO) の製作・配付

2024 年 9 月に製作した本会パンフレットを、会員や関連機関等に広く配布した。

(5) その他、会員に対する各種情報の提供

当期中に、関係省庁・関係学会・関連団体等から入手した各種情報の内、必要な事項について機関誌「科学機器」に掲載したほか、主に e-mail による各種情報の発信を行った。また、国内外からのアクセスに対しては、電話をはじめ e-mail・FAX・郵便等による回答を行った。

6. 経済活動に係る事業

当期中、次の事業活動を行った。

(1) 実勢景況調査実施に協力

(一社)日本科学機器協会が毎年実施する実勢景況調査に協力し、当業界の景気動向調査を行い、その集計結果を機関誌「科学機器」に掲載し、会員へ情報提供を行った。

(2) 「会員実態調査」実施に協力

(一社)日本科学機器協会が 3~4 年毎に実施する会員実態調査に協力し、当業界の全般的な調査を行い、結果をまとめた会員実態調査報告書を発刊し、全国の会員企業に送付した。また、結果報告のダイジェスト版を機関誌「科学機器」に掲載した。

(3) 「新入社員研修」を開催

(A コース)

・日時・会場 : 2024 年 4 月 2 日~3 日 9:30~17:00

(一社)東京科学機器協会 会議室

・講師 : 菊地理恵 氏 (有)エファ 代表取締役)

・受講料 : 10,000 円

・受講者 : 11 社/24 名

(B コース)

- ・日時・会場：2024 年 4 月 8 日～9 日 9：30～17:00
(一社) 東京科学機器協会 会議室
- ・講師：菊地理恵氏 (有)エファ 代表取締役
- ・受講料：10,000 円
- ・受講者：7 社／13 名

(4) 「2024 年 ビジネスセミナー (オンライン)」を開催

- ・日時：2024 年 8 月 20 日 15:00～16：30
- ・参加形式：オンライン
- ・テーマ・講師：
 - ① 「製造業を巡る現状と課題」
講師：経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 大森洋平氏
 - ② 「皆様には是非ご活用いただきたい中小機構の支援施策」
講師：中小企業基盤整備機構 経営支援部 経営支援企画課長 川治恒紀氏
- ・受講料：無料
- ・受講者：31 社／43 名

(5) 「営業社員研修」を開催

- ・日時・会場：2025 年 2 月 12 日 9：30～17:00
(一社) 東京科学機器協会 会議室
- ・講師：牛道茂氏 (有)エファ
- ・受講料：6,000 円
- ・受講者：12 社／24 名

(6) 「生産性向上特別措置法」および「中小企業経営強化法」に係る税制措置に必要な証明書発行手続き (日科協に協力)

(一社) 日本科学機器協会が、「生産性向上特別措置法」、中小企業経営強化法」に係る税制措置に必要な「試験又は測定機器」と「測定工具及び検査工具 (工具)」の証明書発行団体となっており、同会に協力して証明書発行業務を行い、本年度内に 117 件に証明書を発行した。

7. 技術振興に係る事業

当期中、次の事業活動を行った。

(1) 株式会社島津製作所「Shimadzu Tokyo Innovation Plaza」見学会を開催

- ・日時：2024 年 5 月 16 日 (木) 15:00～19：30
- ・場所：Shimadzu Tokyo Innovation Plaza
- ・受講料：5,000 円
- ・受講者：33 社／51 名

- (2) 「毒物劇物取扱者資格試験」2024 年度受講準備会を開催
((公社) 日本理科教育振興協会と共催)

- ・会 期 : 2024 年 7 月 28 日～31 日
- ・会 場 : 連合会館
- ・講 師 : 基礎 志賀孝作氏 (東京都鍍金工業組合 環境科学研究所)
法規 戸井崎 茂氏 (東京都鍍金工業組合 環境科学研究所)
各論 谷川貴信氏 (多摩大学目黒中学校・高等学校)
- ・受 講 料 : 44,000 円
- ・受 講 者 : 日科協会員 7 社/9 名

- (3) 「電気用品安全法 (PSE) セミナー (オンライン)」を開催

- ・日 時 : 2024 年 12 月 11 日 15:00～16:30
- ・開催形式 : オンライン
- ・講 師 : 一般財団法人電気安全環境研究所 (JET)
ビジネス推進部カスタマーサービスセンター 河嶋真奈美氏
- ・受 講 料 : 無料
- ・受 講 者 : 63 社/163 名

- (4) 「科学機器学習教室」を開催

① 「バイオ・ライフサイエンス編」

- ・日 時 : 2025 年 2 月 21 日 15:00～17:00
- ・開催形式 : オンライン
- ・講 師 : 岩瀬 壽氏 (バイオディスカバリー(株) 代表取締役)
- ・受 講 料 : 無料
- ・受 講 者 : 47 社/118 名

- (5) (一社) 日本科学機器協会が関わった IEC (国際電気標準会議) の技術関連業務に協力した。

8. 国際活動に係る事業

当期中, (一社) 日本科学機器協会の業務に協力し, 次の活動を行った。

- (1) 「2024 年高雄国際儀器化工展」出展に協力

- ・旅行日程 : 2024 年 5 月 15 日 (水) ～18 日 (土)
- ・会 場 : 台湾・高雄市・高雄展覽館
- ・主 催 : 経済日報
- ・協 賛 : 高雄市儀器商業同業公会
- ・展示会に出展し, 協会, JASIS, 英語サイト「SORAN」などの PR を行った。

- (2) JASIS2024 期間中の事業

① 「PITTCON コミッティとのミーティング」を開催

- ・日 時 : 2024 年 9 月 4 日(水)12:00～14:00
- ・会 場 : 幕張アパホテル「七海」
- ・出席者 : PITTCON コミッティ 3 名 (一社) 日本科学機器協会 4 名

②「中国測試協会とのミーティング」を開催

- ・日 時 : 2024 年 9 月 5 日 (木) 11:30～13:30
- ・会 場 : ホテルニューオータニ幕張「山茶花」
- ・出席者 : 中国測試協会 5 名 (一社) 日本科学機器協会 5 名

(3)「安全保障貿易管理について～初級編～ & 技術情報管理認証制度」を開催

- ・日 時 : 2024 年 9 月 20 日 13:00～16:00
- ・開催形式 : ハイブリッド 集合会場 AP 秋葉原
- ・講 師 : 安全保障貿易管理自主管理促進アドバイザー 萩原 良信 氏
- ・受講料 : 無料
- ・受講者 : 会場 10 社/12 名 オンライン 33 社/41 名 計 43 社/53 名

(4)「安全保障貿易管理セミナー中級編」を開催

- ・日 時 : 2025 年 2 月 6 日 13:00～16:00
- ・開催形式 : ハイブリッド 集合会場 AP 秋葉原
- ・講 師 : 安全保障貿易管理自主管理促進アドバイザー 萩原 良信 氏
- ・受講料 : 無料
- ・受講者 : 会場 6 社/10 名 オンライン 24 社/48 名 計 30 社/58 名

(5)「PITTCON 2025」出展及び調査・研修ツアーの企画に協力

- ・旅行日程 : 2025 年 3 月 2 日～3 月 8 日
- ・会 場 : アメリカ・マサチューセッツ州・ボストン
- ・主 催 : 東武トップツアー(株)
- ・参加人数 : 6 社/14 名
- ・(一社) 日本科学機器協会を代表して、下平財務理事・国際委員長が訪問を行った。
- ・展示会に出展し、協会、JASIS、英語サイト「SORAN」などの PR を行った。
((一社) 日本分析機器工業会と共同出展)

(6)「英語版 科学・分析機器取扱会社サイト『SORAN』の運営に協力

総覧委員会に協力して、SORAN 改良検討ワーキンググループを設置し「英語版科学・分析機器取扱サイト『SORAN』」の改良の検討と PR 活動を行った。

<http://soran.japan.com>

(7) “JETRO 貿易実務オンライン講座”に(一社) 日本科学機器協会と共に協力

(一社) 日本科学機器協会が、日本貿易振興機構(JETRO)と団体契約を結び、2024 年度において、JETRO 貿易実務オンライン講座に協力した。

9. 会員交流および厚生に係る事業

当期中、次の事業活動を行った。

- (1) 第79回通常総会当日 懇親会を開催
 - ・日 時 : 2024年5月30日 18:00～19:30
 - ・会 場 : 上野精養軒 (3階 桜の間)
 - ・参加者 : 約135名
- (2) 「第12回 懇親ビヤパーティ」を開催
 - ・日 時 : 2024年8月1日 (木) 18:00～20:00
 - ・会 場 : 上野精養軒
 - ・会 費 : 7,500円
 - ・参加者 : 88社/440名
- (3) 「初級ビジネス英会話講座オンライン」を開催 (全10回)
 - ・期 日 : 2024年10月15日 (火) ～2025年3月4日までの毎週火曜日
19:30～21:00
 - ・形 式 : オンライン
 - ・講 師 : Tomomi Yokomoto 氏
 - ・会 費 : 12,000円 (25回分)
 - ・受講者 : 8社/11名
- (4) 「第10回 親睦ボウリング大会」を開催
 - ・日 時 : 2024年10月18日 18:30～20:30
 - ・会 場 : 東京ドーム ボウリングセンター
 - ・会 費 : 4,000円
 - ・参加者 : 20社/118名
- (5) 「第3回 SIA カップ (ゴルフ大会)」を開催
 - ・日 時 : 2024年12月7日
 - ・会 場 : GMG八王子ゴルフ場
 - ・会 費 : 2,000円
 - ・参加人数 : 14社/16名
- (6) (一社) 日本科学機器協会 2025年賀詞交歓会に賛同し、共に新年を祝った。
 - ・日 時 : 2025年1月15日 17:30～19:00
 - ・会 場 : グランドプリンスホテル新高輪「国際館パミール」
 - ・参加者 : 314名
- (7) 「第76回新春大懇親会」を開催
 - ・日 時 : 2025年1月24日～25日
 - ・会 場 : 熱海後樂園ホテル

- ・会 費 : 33,000 円
- ・参 加 者 : 74 社／140 名

10. 創立 80 周年記念事業（日科協との共同事業）

協会創立 80 周年にあたって、委員会を編成して、主に次の準備活動を行なった。

- (1) 記念式典・祝賀会を 2025 年 11 月 27 日（木）に、東京會館において開催する。
- (2) 日本科学機器協会 80 年史の編纂・刊行に協力する。
- (3) 2025 年 5 月 30 日に、当会の会員表彰を行う。

11. 団体 PL 保険制度への参加協力

会員企業の経済的リスク軽減を図る主旨で、東京海上日動火災保険会社と提携して、(一社)日本科学機器協会団体 PL 保険（製造物賠償責任保険）制度に、当期中も本会会員企業が加入して、同制度の継続に協力した。

12. グループ保険制度への参加協力

会員企業の福利厚生の充実を図ることを目的とし、生命保険会社の協力を得て、1997 年 2 月 1 日付で設立された(一社)日本科学機器協会グループ保険制度に、当期中も本会会員企業が加入して、同制度の継続に協力した。

13. 団体長期障害所得補償保険（GLTD）への参加協力

会員企業の福利厚生制度の充実を目的に、生命保険会社の協力を得た、(一社)日本科学機器協会団体長期障害所得補償保険（GLTD）制度に、当期中も本会会員企業が加入して、同制度の継続に協力した。

14. 官公庁・学会・団体等との協調および協力

当期中、官公庁、関係学会・関係団体と協調および協力を行った。

15. 部会等の活動に対する支援

当期中、次の部会等の活動を支援した。

- (1) S. J. C. (サイエンス・ジュニアーズ・クラブ) では、勉強会をはじめ講演会・企業見学会を開催したほか、社会貢献活動を行うなど年間を通じて業界の後継者としての素養の研鑽に励み、本会はこれを支援した。
- (2) サイエンス部会では、年 5 回例会を開いて会員相互の親睦と研鑽に努め、本会はこれを支援した。

1 6. 対外機関への支援・協力

当期中、関係学会・友好団体等の活動に対して協賛又は協力した。